

1. 件名：「島根原子力発電所 2 号炉の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(155)」

2. 日時：令和 3 年 4 月 9 日（金） 13 時 30 分～ 16 時 00 分

3. 場所：原子力規制庁 9 階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、佐口主任安全審査官、海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、菅谷技術研究調査官、磯田係員、松末技術参与

中国電力株式会社：山田常務執行役員 他 16 名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 島根原子力発電所 2 号炉 新規制基準適合性に係る審査を踏まえた検討・反映事項について
- ・ 島根原子力発電所 地盤（敷地周辺陸域の地質・地質構造）
- ・ 島根原子力発電所 地盤（敷地周辺陸域の地質・地質構造）（補足説明）
- ・ 島根原子力発電所 地盤（敷地周辺海域の地質・地質構造）
- ・ 島根原子力発電所 中越沖地震の短周期レベルの不確かさを考慮したケースの断層モデル計算手法について
- ・ 島根原子力発電所 地盤（敷地の地形、地質・地質構造）
- ・ 島根原子力発電所 地盤（敷地の地形、地質・地質構造）（補足説明）
- ・ 島根原子力発電所 2 号炉 津波評価について
- ・ 島根原子力発電所 2 号炉 津波評価について（補足説明）

<<本年4月6日に受取済み>>

- ・ 島根原子力発電所 基準地震動の策定について
- ・ 島根原子力発電所 基準地震動の策定について（補足説明資料）

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	規制庁クマガエです。それでは島根原子力発電所
0:00:06	どうまとめ資料についてですねヒアリングを始めたいと思います。
0:00:10	よろしくお願いいたします。
0:00:14	はい、中国電力のカシマです。ではまず佐々木さん。はい、最初にですね本日準備させていただいております資料の確認からさせていただきたいと思えます。
0:00:24	いずれも本日 4 月 9 日付の資料となっております。まず最初にEP
0:00:30	082 回の 03。
0:00:34	計算の時全体概要ですね。私気石油適合性に係る審査を踏まえた検討反映事項について、こちらが 1 枚。
0:00:42	あと、引き続きまして、陸域の資料になります。Pd070 回 04。
0:00:47	えっ。
0:00:48	地震、じゃあ地場を確保敷地周辺陸域の地質地質構造、それと、070 本回 03、こちらが陸域の補足説明資料、
0:01:00	引き続きまして海域の資料になります。Pd072 回 03。
0:01:04	敷地周辺海域の地質地質構造、
0:01:09	続きまして、敷地内関係の資料といたしまして、Pd073 回ゼロさ。
0:01:15	敷地の地形地質地質構造、
0:01:18	こちらの補足資料となります。TPP073 法解 03。
0:01:23	と敷地の地形地質地質構造の補足資料、
0:01:27	それと地震動関係につきましては、EP08 号
0:01:33	こちら中越沖地震の短周期レベルの不確かさを考慮したケースの断層モデルの計算手法について。
0:01:41	続きまして津波関係の資料となります。EP07 の溶解 0 よ。
0:01:47	別途津波評価について、こちらの補足資料につきましては、Pd07-4 ほうはい 03 の資料となっております。
0:01:55	こちらについて資料のご確認をお願いいたします。
0:01:59	規制庁クマガエですはい資料を準備するっております。よろしくお願いいたします。
0:02:09	中国電力の秋山です。
0:02:11	それではどう
0:02:13	資料番号EPかっこいいの 085 と島根原子力発電所中越沖地震の短周期レベルの不確かさを考慮したケースの長さまで経産省について御説明させていただきます。
0:02:26	まず 1 ページをご覧くださいと、1 ページは概要を記載してございます。

0:02:33	島根原子力発電所の断層モデル評価でのつつ中越沖地震の短周期レベルの不確かさを考慮したケース、これにつきましては、基本震源モデルに対してな周期レベルが 1.5 倍と。
0:02:48	場所的レベル 1.5 倍といいますと、それと比例関係にある応力降下量も 1.5 倍ということになります。こういった経産省によって評価をさせていただきます。
0:02:58	一方ですが、
0:03:00	2009 年になりますが、当時の原子力安全委員会、ここで地震動の作業開口がありまして、断層パラメータの不確かさを考慮する際、これは応力降下量の不確かさということですが、
0:03:15	とこの評価の仕方によってつつニ表を示してございますが、基本震源モデルに対して応力降下量を大きくした割合と短周期レベルが大きくなる、割合、これが異なる方法、当時、B法とってございましたが、
0:03:32	そういったやり方があることが確認されてございます。
0:03:37	その表をご覧ください。投票の中に褒美法と書いてございますが、このB法につきましては、都市法の概要のところを書いてありますが、要素地震の応力降下量、
0:03:52	これを基本モデルから変更と
0:03:55	応力降下量を 1.5 倍して開け合成を行うと。そうすると、評価結果として、応力降下量は 1.5 倍としているんですが、結果的に短周期レベルが 1.5 の 3 分の 2 以上、約 1.3 倍にしかならないと。
0:04:12	いう方法があることが確認されてございます。
0:04:15	これに対してもう一歩上の段に方というのは書いてございますけれども、法といいますのは、基本し、震源モデルと同じ要素地震はを用います。同じ要素地震を用いてハケ合成の際に、応力降下量の補正係数。
0:04:33	であったり重ね合わせ数、これを新たに設定することで、応力降下量 1.5 倍かつ短周期レベル 1.5 倍を実現する、そういった手法でございます。
0:04:46	島根の
0:04:48	断層モデル評価におきましては、この表に書いてございますように、応力降下量短周期レベルともに 1.5 倍となる法
0:04:57	を使っているということでございます。
0:05:01	次に 2 ページ 3 ページで平方飛び方の概要を示してございます。
0:05:10	まず最初に 3 ページのbほうから御説明したほうがわかりやすいかと思っておりますので、まず 3 ページのbほうの御説明をいたします。
0:05:19	あと 3 ページにB法の概要図が書いてございます。

0:05:24	日方につきましては、先ほど申しましたように、要素地震の応力降下量を 1.5 倍しますと、下の図で言いますと、要素地震という引き出しを書いているスペクトルが見えるかと思います。
0:05:39	これは青線と黒線があるんですけども、まず最初につくる要素地震は黒線Aで書いています。ちょっと青線が、
0:05:48	低振動数側ではかぶっていったお 2 人にしか見えないんですけども、まず黒い要素地震というものを作ります。
0:05:55	これに対して、応力降下量 1.5 倍するとパラメーター化の関係式これ右下に書いてございますけれども、で応力降下量の $\Delta\sigma$ を 1.5 倍すると、結果的に短周期レベルは 1.5 のす。
0:06:10	3 分の 2 以上、1.3 倍程度になりますので、それを表しているのが、
0:06:18	この要素地震という人図の中で要素地震という引き出しを書いているスペクトルのこう振動数が、これが黒い線から少し上に上がった青い線がほぼ重なっていますけど、20、二つ線が見えるかと思います。
0:06:35	このように、要素地震をまず応力降下量 1.5 倍にして作って、
0:06:40	作成するとねそのあとは通常のはけ剛性の手続きを行わせて行うわけですが、そうすると大地震を合成した際にも、この基本震源モデルと香料降下量 1.5 倍をにした。
0:06:58	モデルとの短周期レベルの差というのは 1.3 倍程度にしかならないと。
0:07:03	こういう手法でございます。
0:07:07	これに対して、日本 2 ページ目に戻っていただけますでしょうか。
0:07:13	2 ページ目に書いてあるのが法の概要です。
0:07:18	先ほどと同じくスペクトルの図を示してございます。
0:07:22	うん方につきましては、まず要素地震、これは引き出しで要素地震と書いてありまして黒いスペクトルがはっきりと見えると思います。
0:07:32	まずこの要素地震を作成しまして、これを使いますので、この要素地震を使ってはけ合成をする際に、応力降下量の補正係数、これは $c$ という係数なんですけれども、そういったものを使ってはけ合成をするやり方、
0:07:50	がありますんで、この補正係数を変更する 1.5 倍するという事で前週気体にわたって、1.5 倍の効果が現れるとでさらにそれを
0:08:06	あて合成をするときに、当滑りの重ね合わせ、合わせて幾つか数字失礼します。滑りの重ね合わせを表す ND というものを新たに設定します。
0:08:21	これを設定を適切にすることによって長周期側、

0:08:29	の地震モーメントは、基本震源モデルと変わらずに、短周期側のみ、応力降下量 1.5 倍の効果が現れるというようなやり方でございます。これははげ剛性のときにこういった合成の仕方をするという手法でございます。
0:08:50	4 ページに移っていただきまして、
0:08:54	4 ページ以降島根での断層モデルの評価について御説明をさせていただきます。
0:09:01	島根の断層モデル評価におきましては、先ほど御説明しますと、備考のように要素地震の応力降下量 1.5 倍するのではなくて、
0:09:10	法と同じではげ剛性のときに、短周期レベルが 1.5 倍となるように計算してございます。
0:09:18	後程御説明しますが、具体的には短周期レベル 1.5 倍の評価ににおいては、当時間領域で計算はしていますが、小地震の発揮を重ね合わせたときに、低振動数側、これは地震モーメントですけれども、
0:09:35	もう変わらず、高振動数側は短周期レベルのみ 1.5 倍になるよう、これとこういった滑りの重ね合わせこれを使え
0:09:46	採用してございます。
0:09:49	で、三つ目のポチ四角ですけれども、ちょっと 1.5 倍のやり方の御説明の前にまず Kakehi 剛性の基本となる式を御説明させていただきます。
0:10:00	左下にはっきり幾ら幾ら先生の方ほうですけれども、発見剛性の基本式というのを書いてございます。
0:10:10	この基本式とというのは、第 1 項と第 2 項に分かれております。
0:10:18	地域中 2 台、それぞれ表示をしてございます。
0:10:22	で、この第 1 項、この基本式における滑りの重ね合わせについてでございますが、この組織の中の
0:10:33	ND2 / する
0:10:36	文字がええと滑りの重ね合わせの行になります。これについては、
0:10:42	図の右側の図に示しておりますように、当第 1 項が表しているのが振幅 1 倍要素地震の振幅を一番下、
0:10:54	ものとそれと振幅を $n'$ 分の 1 にしてさらに
0:11:02	分割をふやして要素地震を
0:11:06	さらに分割した要素地震を複数重ね合わせるとこういった形で滑り E の重ね合わせをしているというような図でございます。この右側の図がその滑りを重ね合わせる際の補正をする関数のような位置付けになります。
0:11:25	ね等具体的に、これを使って 1.5 倍の評価をするやり方ですけれども、5 ページ目に書いてございます。

0:11:36	方ですので、人工的に作成するこの要素地震の応力降下量、これは大地震と等しくしております。
0:11:46	それで、
0:11:48	滑りの重ね合わせに関する形状これが先ほど申しました。補正関するというものでこの図の右側に書いてある棒グラフのような図でございます。
0:12:00	ね。これの滑りにいいの重ね合わせの形状の振幅 1 も 1 個。
0:12:08	1 個目、これが通常の基本震源モデルのやり方でいいなっています。これに対して、最初の振幅、
0:12:20	1-1 孔をこれを振幅を 1.5 倍します。
0:12:24	で、振幅 1.5 倍の一つ目のIA要素地震の
0:12:30	を作成し、要素地震と、それ以降、
0:12:35	さらに細かく細分割した要素地震を時間遅れを考慮して重ね合わせていくと、そういうやり方にしていますので、ここのポイントになるのが振幅を 1 個目が 1.5 倍にしていますが、それ以降に続く後続の
0:12:51	波については振幅をさらに小さくしてございます。
0:12:57	こういったやり方をすることで、結果的に
0:13:01	隻へ高振動数側のみ、
0:13:06	1.5 倍になりまして、低振動数側には、その 1.5 倍更新統ペース振動数側、通常の重ね合わせになるといったことが
0:13:19	実現されます。
0:13:23	6 ページ以降ですけれども、これは
0:13:27	1 点、この当滑りの関数を考慮するとどうしてそういう監修高振動数側も見て 5 倍になるかということを御説明したページが 6 ページから 8 ページまで続いてございます。
0:13:44	内容的にはちょっと教科書に書いてあるような話かもしれ前知れないですが、まず 8 ページ、6 ページ目でございますけれども、この先ほどの滑りの足し合わせに関する計上これを見ますと、まずこの振幅 1 の一つ。
0:14:02	目の波振幅 1 の 1 倍の 1 個目につきましては、右側に書いてありますようにこういったインパルス発見、考えることができます。
0:14:15	追いタニ%とはっきりといいますのは、スペクトル周波数領域で見ますと、全周波数で振幅が一定の波といえるというふうに言えます。
0:14:28	一方そのあとに続く、
0:14:32	ちょっと細分化としては小さい波でございますけれども、
0:14:36	これは小さい波が

0:14:39	短い時間差で次々とやってくるというようなことになりますので、こういった状態は、先ほどの上にの図にありますようなインパルスの複数のインパルスの足し合わせてということで、下の箱括弧の中にありますような
0:14:56	これはボックスか半径と呼んだりしていますが、そういった形状になります。
0:15:03	で、こういった
0:15:05	複数のインパルスの足し合わせといいますのは、これを足し合わせますと、長周期の波が低振動数の波については、その波の位相が重なって並みの個数分だけ振幅が大きくなると。
0:15:22	重ね合わせ部数分だけ大きくなると。
0:15:25	という性質がございます。一方、
0:15:28	より高振動数側の波、非常に当周期の短い波につきましては、位相がそのままなくなりますので、波を重ね合わせても振幅が大きくなるという現象が生じないと、そういう性質がございます。
0:15:45	これを実際にスペクトル上で、両者を足し合わせたらどうなるかというのが 7 ページに書いている図でございます。
0:15:59	先ほど御説明いたしました。最初の 1 個目のインパルスはこれにつきましては、振幅 1 の
0:16:09	全周周波数領域で一定のスペクトルになると、それが右の図でいう上側の赤い線になります。
0:16:18	あとその後ろの後続の当ボックスか半径と言っているものですが、これは
0:16:26	低振動数側、これは重ね合わせ残す部分、
0:16:33	振幅が大きくなりますので、ND低い値。
0:16:37	の所重ね合わせたら $Nb-1$ の振幅になりますので、こう振動数側に行くに従って重ね合わせのによる効果が減ってきますので、だんだんとゼロに近づいていくと、右に向かって右下に向かって下がっていくような
0:16:54	スペクトル形状となると。
0:16:57	そういったイメージです。
0:17:00	これを緑と赤の線を足し合わせたのが青い線というふうに見えるわけですがけれども、これは単純に足し算をしたもので、最終的に青い線のような
0:17:13	重ね合わせがを行うことができると。
0:17:16	そういった考えになってございます。
0:17:20	それで、
0:17:21	8 ページ目でございますけれども、

0:17:26	これが当短周期の 2.5 倍にするというやり方の市の詳細でございます。先ほどありましたこのインパルス半径というものを下げ先ほど振幅 1 としていましたけれども、
0:17:41	これを振幅を 1.5 倍にすると。
0:17:45	いうふうにしてございます。
0:17:46	後続のあと後続のものは、振幅をさらに小さくして重ね合わ施工するの变えているというようなことで、それらを足し合わせるの作業を行うと何が変わるかといいますと、
0:18:04	先ほど右側の図に書いてますように、
0:18:07	インフラ先への耐専これの周波数領域で見たときの大きさ、それが 1 が 1.5 倍になっているというところが変わります。
0:18:19	後続の波のL/D後続波についても鋭意等ボックス化は系の長周期領域はNDマイナス 1.5 になりますが、最終的に足し合わせたときは、
0:18:35	長周期については、青い線の下側の図ですけれども、NDになっているのに対して、来振動数が、これは赤いところ、赤い上側の図の赤い線は 1.5 倍になったことによって、足し合わせた後も
0:18:52	青い線の高振動数側 1.5 倍になっていると。
0:18:57	そういうように見ることができます。
0:19:01	こういった波の重ね合わせての性質といいますか考え方を用いまして、はっきり合成を行うことにより、9 ページに示してございますように、低振動数側では通常の重ね合わせ、倍数になるとに対して、
0:19:20	高振動数側では 1.5 倍の 1 重ね合わせが行われると。
0:19:26	そういったことを実現することができると、そういう手法でございます。
0:19:31	で、
0:19:32	最後でございますけれども、
0:19:37	あと 10 ページですと 10 ページ最終的に評価した結果がちゃんと 1.5 倍になっているかということを基本震源モデルとのフーリエスペクトル比で表したものです。
0:19:49	このように短周期側で 1.5 倍になっているということを確認してございます。
0:19:58	11 ページは参考でつけているものでハケ合成法のそれぞれの要素地震、地震はの重ね合わせの考え方を図で表したものでございます。ご説明は以上です。
0:20:16	規制庁クマガエです。説明ありがとうございます。この資料の位置付けというのはどういう位置付けになるのかについて御説明ください。

0:20:24	はい。今回単独の資料として御説明させていただきましたけれども、内容的にはまとめ資料の断層モデル評価の評価手法の詳細を説明するものと考えられますので、
0:20:39	次回、まとめ資料を提出する際に、補足説明資料、
0:20:45	の中に入れて
0:20:49	出したいというふうに考えておりますが、いかがでしょうか。
0:20:57	規制庁クマガエです。はい、考え方についてはわかりました。
0:21:15	規制庁サグチですけれども、今日御説明いただいた短周期レベルの話ですね、非常に丁寧に御説明いただいた、ありがとうございました。
0:21:24	よくわかりましたので。基本的に1ページにあるように、応力降下量も短周期レベルも1.5ともに1.5倍になるような方法でちゃんと計算をしているということわかりましたねー応そこは確認できましたのでありがとうございました。
0:21:47	規制庁クマガエです。
0:21:49	よろしければ、地震動の
0:21:51	変更点のところについてですね、簡単にご説明いただければと思いますけども、
0:21:59	中国電力の井上です。
0:22:02	それでは、地震動の変更点について、4月6日に向けの資料に基づきまして御説明いたします。
0:22:12	ちょっと資料ですけれども、資料番号EP-071 回 03、基準地震動の策定についての本資料と
0:22:22	補足説明資料としてEP-071 カッコ補を買い 03、この2点に基づいて説明したいと思いますが、資料のほうをよろしいでしょうか。
0:22:36	はいその通りですよろしく申し上げます。
0:22:41	中国電力の井上です。それは本資料に基づきまして、3月26日の審査会合からの変更点について御説明いたします。
0:22:51	3月26日からの変更点として、まず、16ページをお願いいたします。
0:23:01	審査会合におきまして、反映すべき知見が現在の記載で最新かどうか、確認することという御指摘をいただきまして、
0:23:11	こちら具体的に2018年の決まり牽制部の地震が入っていないということで、今回こちら追記しております16ページ、まずこちら、基礎所気象庁の気象庁方の最新のデータということで2019年の8月までのデータを入れ込んで修正をしております。
0:23:31	実際に2018年の島根県成分の地震、こちらが島根県島根原子力発電所の南西

0:23:39	あたりにですね、追加されておりますが、系統 200km以内についてはこちら一つだけ追加となっております。
0:23:48	続いて 18 ページをお願いいたします。
0:23:54	18 ページですけれどもこちらは先ほどの被害地震のM Δ図になります。
0:24:00	こちら 2018 年の島根県政府の地震を追加しております、
0:24:05	横軸の信号距離でいきますと 50 キロ過ぎた辺りでマグニチュード 6.1
0:24:13	のところ 2018 年のプロットを追加しております、
0:24:17	震度で言えば 4、
0:24:20	ゼロということで、敷地に影響するようなものではないということを確認しております。
0:24:28	続きまして 35 ページをお願いいたします。
0:24:38	35 ページですけれどもこちら地下構造評価の中で、原子炉建物基礎上端の地震観測記録による検討ということで、2 号と 3 号の原子炉建物、
0:24:50	基礎上端の観測記録を比較したのになりますけれども、
0:24:54	このページの下で今回、No.5 番とNo.6 番を追加しております。
0:25:01	こちらの評価につきましては、前回の資料において、日トップ 2016 年の鳥取県中部の地震も入っておりませんでしたので、この二つを追加しております。
0:25:14	その結果が 41 ページ以降に記載しております。
0:25:18	41 ページをお願いいたします。
0:25:23	41 ページ、こちらは 2016 年、鳥取県中部の地震を時刻歴が系とオートスペクトルを示しております。
0:25:34	ほかの記録と同様に 2 号と 3 号でも同程度であるということが確認できております。
0:25:41	えっと次のページ 42 ページをお願いします。
0:25:46	こちらが 2018 年島根県西武の地震の
0:25:50	先ほどははっきりと応答スペクトルになりますが、傾向としては同様で大きくかね
0:25:57	現状の差はないということが確認できております。
0:26:01	続きまして補足説明資料の
0:26:04	3 ページをお願いいたします。
0:26:13	補足説明資料の 3 ページ、こちらは被害地震の諸元表になりまして、こちらの表の一番最後、No.58、島根県西武の地震、
0:26:26	追加しております。こちらの商品に基づきまして、冒頭の被害地震のプロットをしております。
0:26:33	続きまして補足説明資料の 100 ページをお願いします。

0:26:45	こちらはF3F4F5 断層の傾斜角を設定する際にも参考にしたデータということで、ナンバー100 ページの表でいきますとNo.9、
0:26:57	島根県
0:26:58	政府の地震のデータをこちら追加をしております。
0:27:02	それからNo.8 の鳥取県中部の地震につきましても、再度確認した結果、Fネットをのデータ更新をされていたということで、この辺りが若干変更になっております。
0:27:15	けれども、計画的に平均 80° で最も傾斜しているものが 71° という評価には変更はございません。
0:27:25	101 ページをお願いいたします。
0:27:28	こちらについても、滑り角のデータが入っておりますけれども、
0:27:32	No.11 島根県政府の地震を追加をしております、
0:27:37	次の 102 ページ。
0:27:41	こちらで震源メカニズムを示す施設ですけれども、No.11、こちらも島根県は島根原子力発電所の南西辺りにNo.11 の図を追加をしております。
0:27:55	図の修正は以上になりまして、続いて本資料に戻っていただきまして、本資料の 54 ページをお願いします。
0:28:18	本資料の 54 ページですけれども、こちら
0:28:23	まじっ
0:28:24	設置前回の審査会でいただいたコメントとして、事業者の判断が明確になるようにということで、全体を通しての御指摘をいただいております、それを踏まえて修正をしております。こちらのページを例に挙げて説明させていただきますが、
0:28:40	54 ページはこちら、地下構造評価のまとめということで、1(1)から(5)のそれぞれの検討の内容のまとめを書いておりますが、
0:28:48	前回の資料においては、それぞれの(1)から(5)の中で、
0:28:54	考えられるという表現をすべて使っておりましたけれども、
0:29:00	今回の資料におきましてはそれぞれの観測事実からいえる結果を確認したと。
0:29:05	いう記載にすべて修正をしております。
0:29:09	それを踏まえて、一番下、矢羽のところに追記しているんですけれども、まとめとして、最終的に特異な構造は見られないことを確認したと。
0:29:19	ということで記載を修正をしております。
0:29:23	もう一つ、73 ページをお願いいたします。
0:29:30	うん。

0:29:31	こちら先ほどの事業者も判断が明確になるようにということで、例としてこちら修正しておりますが、73 ページの一番下のまとめのところ、
0:29:41	洞道南北の傾斜構造を踏まえて、技検地下構造モデルを用いて解析を実施したということで、
0:29:48	水平性成層構造、
0:29:50	とみなすことができるというのをまとめに記載しているんですけども前回
0:29:56	の資料においては、
0:29:57	水平性成層構造で近似できると考えられるという表現を使っておりましたが、
0:30:03	みなすことができると判断したと。
0:30:06	いうふうに記載を見直しております。
0:30:10	そのほかにも修正したところ、ありますけれども、全体的に同様の考え方で、こちらの事業者の判断を明確にということで修正をしております。
0:30:22	以上が今回の修正点の説明になります。
0:30:26	すいません、14 ページ、本資料 14 ページ、もう 1 回戻っていただけますでしょうか。
0:30:38	14 ページ微小地震の発生状況ということで、こちら前回のヒアリングでも少し説明したんですけども、今回の資料においてはこの図はまだ反映最新のデータ反映できておりませんが、もうすでにエイズアース確認しております、見たい目、
0:30:57	はもうほとんど変わらないということは確認はしております。次回の肥料において上げをしたものを出させていただきたいというふうに考えておりますし、他にも幾つかございますので、次回はずべて最新のデータを反映して、
0:31:12	修正したものをさせていただきたいというふうに考えております。
0:31:16	それから 204 ページをお願いいたします。
0:31:35	204 ページは各社へと地震ハザード評価についてなんですけれども、最新のデータを入れてハザードが変わるかどうかということも検討が必要だろうということで今確認をしているところなんですけれども、
0:31:49	704 ページの表でいきますとまず最大マグニチュードについては変更はないということは、確認をしております。
0:31:57	右側に書いてありますb値、こちらについては若干変わる領域もありますが、ほとんど値としてはへと変更はないということは確認をしております。
0:32:11	別途、最終的なハザードに影響があるかどうかということで現在検討をさらに実施をしております、
0:32:18	212 ページをお願いできますでしょうか。

0:32:29	こちら 212 ページですけれども、特定震源と領域震源の震源別のハザードを書きまして、それが赤と青で書きまして、黒線で全体の平均ハザード書いておりますけれども、今回変わるところとしましては、青色で、
0:32:45	示しますと、領域震源
0:32:47	ということで、全体ハザードに与えるものとしてはほとんど特定震源で決まっていますとええと領域震源についてはもうほとんど確率が低い領域は少し影響あると思うんですけれども、全体に対してほとんど影響ないということ。
0:33:04	こちらからわかると思いますが、一応領域震源がどれだけ変わるかというところ、今計算をしております、そちらを次回お示して全体のハザードには影響はないということをお示したいというふうに考えております。
0:33:22	Ssの策定の資料については以上でございます。
0:33:27	すみません、中国電力の秋山です。補足させてさせていただきますが、今の説明に加えましてさらに
0:33:39	Ss-F2 を選定した理由、これ前回少しコメントいただきましてSF2 については、オートスペクトルではなくて、最大加速度が最大のものを選んでおりますので、5 名機器への設計への影響を考慮して、
0:33:57	最大加速度は周期 0.02 秒での応答スペクトルの与え方を見て選んだということ計算の概要資料をに反映をしたいというふうに考えてございます。
0:34:10	それと、それと、概要主な変更の内容のページも含めて修正をさせていただきたいと考えてございますとそれと
0:34:21	観測記録につきましても、2 号機と 3 号機で同時に観測された記録、これにつきましては
0:34:29	参考資料は補正申請書のほうですけれども、そこへ反映するように、現在検討の修正をしてございます。以上です。
0:34:45	はい。規制庁サグチです。
0:34:47	いろいろ介護で申し上げたようなことですね、について修正というか、反映されている点は一応確認をできましたので、前回のヒアリングで大きなところは言ったんですけれども、
0:35:03	ちょっと、ちょっと細かいところ、
0:35:07	確認というかコメントさせていただければと思います。
0:35:13	まず 5 ページですね。
0:35:17	5 ページの
0:35:24	最終評価のところ、F3 から英語による地震のところ、括弧
0:35:32	耐専式ってあるんですけど、これ、これって、
0:35:37	言ってしまうと、最後の

0:35:42	例えば 180。
0:35:45	3 ページ。
0:35:47	で言うところの応答スペクトルだと思うんですけど応答スペクトル法によるという
0:35:54	これ
0:35:56	耐専式で行かれますっていうのと、いやもう、耐専式でもいいんですけど、であれば、多分、
0:36:06	参考参考文献
0:36:09	のところが今ですね。
0:36:14	217 ページで全体概要っていうところに入ってくると思うんですけど。
0:36:20	そうすると多分の大通るっていうのが入ってくるのかなとか思ったりですね、ちょっと層厚確認させてください。
0:36:31	中国電力の井上です。
0:36:34	御指摘につきましては、まず最初の耐専式でいいのかということですけども、まず、5 ページ自体がですね、等々スペクトルに基づく地震動評価についての
0:36:48	ページで、そのうち、耐専式なのか、それともほかのNGAとかの好きなのかということをごちうら関係には記載しておりますので、
0:37:00	今回正式で問題ないかというふうに考えておりますが、
0:37:04	すみません、参考文献 1 につきましては今ちょっと、確かに入っておりませんので、そちらについては追記をしたいと思います。
0:37:11	以上です。
0:37:14	はい。わかりました。ちょっとそこはお任せしますが、いずれにしても、本当にちょっと細かいところで申し訳ないんですけど。
0:37:25	多分、最終チェックされると思うんですけど、この 211 ページ目以降のその 3 参考文献のところ、
0:37:33	入っていないとか必要なだけ入ってない、例えばさっきの 5 ページで言うと、相対全っていうののもありますし、その上のNGAっていうのも当然ありますけど、NGEMを多分入ってなくて、逆に言うと 217 ページのこの松田竹村とかってこれ
0:37:50	例えば、遣っ使ってます。
0:37:56	次
0:37:58	10 ページぐらいまでの間ですよこれから用とか用っていうことだと思うんですけど、違いました。
0:38:07	中国電力の井上です。

0:38:09	もう
0:38:10	最初の概要のところをちょっと
0:38:14	前回の審査会合あたりです。
0:38:16	同様と修正をしたということもありますて、ちょっとこちら参考文献に反映できてないようなところが、
0:38:23	あると思いますのすいませんこちら最終的にもう一度きちんとチェックをいたしまして、きちんとした形で記載したいと思います。申し訳ありませんでした。以上ですはい規制庁サクセスじゃそこは最終位置を最終チェックという形で必要なものが抜けていないかとか、
0:38:40	あともう逆に言うと余分なものも入ってないかとかですね、その辺りはちょっとチェックをしていただければと思います。
0:38:49	下階会合のコメントに対して 16 ページとか、18 ページ、さっきも反映していただいたっていうのは確認したんですけど、ここで
0:39:00	またちょっとごめんなさい、文献みたいな話になっちゃうんですけども、気象庁カタログって多分文献だと 2012 とか、なっていて、多分それ工程、何かホームページなのかわからないんですけど、とにかく今の
0:39:16	この信用分布
0:39:19	気象庁地震カタログってな。
0:39:24	出たと思うんですけど。
0:39:25	これはどう、どういう形でちょっと確認されているのか教えてください。
0:39:35	中国電力の井上です。
0:39:37	すみません、2217 ページの例えば、
0:39:41	1 ポツ、
0:39:43	周辺の地震発生状況の
0:39:45	1 ポツのところ、気象庁ということで、
0:39:47	地震年報 2012 年と地震火山月報という期待を今しておりますて、
0:39:52	例えば、わかりにくくて恐縮なんですけれども、年報というのが 2012 年でとまりましてそれからもう 1 地震火山月報ということで、ホームページにどのアップされているという状況かと思しますので、その最新
0:40:08	のデータを更新したところは、この地震火山月報が更新されたということになりますので、
0:40:14	ということで毎月及び更新をされているものですので、
0:40:17	そこら辺はちょっと何年とかいうふうにはなかなか書けないんですけども、
0:40:22	はい、そういった事情がありましてこういう記載になっております。
0:40:26	以上です。

0:40:30	はい、サグチですけれども、なので多分土佐最新のものって考えるとこれが2019年
0:40:38	とかなのかな、それとも全部一括して例えばホームページだったらのホームページのそのURLを入れるとか、そういうものがなんか
0:40:49	工夫をしていただければいいかと思うんですけど、いずれにしても損をどういう形で確認したのかというのがわかるような形では示していただきたいと思います。
0:41:03	中国電力の井上です。承知いたしましたのわかるようにURLと記載してわかるようにしたいと思います。以上です。
0:41:12	はい、サグチです。
0:41:15	じゃあそこはお願いしますかとちょっとごめんなさい、本当に細かいと言いながらちょっと私介護といったように
0:41:24	分野間分野間でのその整合性も図ってくださってというコメントをさせていただいたと思うので、ちょっとそういう観点からもう1回ですね、22ページ目以降で地下構造モデル設定をされていて、
0:41:40	いくつか槽断面図だったり
0:41:44	実際に地下構造モデルでこういう問題でしょうって出てくるんですけど、
0:41:49	基本時、地震っていうのは、
0:41:53	標高
0:41:54	要はTTとか、
0:41:56	またELとかいろいろ多分あると思うんですけど、これ、標高で統一。
0:42:02	でよろしいんですかねっていうのとあとそのほかの分野とあわせて、本当に本当にその標高という形でいいのかどうかっていうのと、あと案と私ちょっと当初申請の方も確認したんですけど。
0:42:16	当初申請はTPPっていう形で示されていて、
0:42:21	で、
0:42:22	このTPP等をここでいう評価っていうのが同じ扱いなのかどうか。
0:42:28	DPだと多分マイナス。
0:42:31	1メートル前後でしたっけ。0.7メートルぐらいかな、ちょっと何か。
0:42:35	変わってくるんじゃないかなと思う、思うんですけど、そうすると、
0:42:40	当初申請でTBPって言われたものと、今の標高、
0:42:45	で言われているのと、若干こう、
0:42:48	変わってこないかな。
0:42:51	思ってちょっとそこは確認をさせてください。
0:43:00	中国電力の井上です。

0:43:03	地震に関しては今商工で統一をしているところ。
0:43:08	ではありますけれども、
0:43:10	先ほど言われたように分野間の方で整合するような形で、
0:43:15	統一図りたいというふうに考えます。
0:43:19	以上です。
0:43:21	すいません中国電力の秋山です。分野間の資料につきましては基準地震動等例えば敷地内の資料であったり、安定解析であったり、空いたそういったクロスのチェックを現在やっております。こちらの内容についても不整合がないように、
0:43:39	適切に反映すで改めて提出させていただきたいと思います。以上。
0:43:47	はい、サグチです。そう思っては防ごうというよりもむしろ別BPO使っても、標高使ってもいいんですけど、ちょっと定義なんかも含めて、もしこここの他の分野やTPPを使うんだけど。
0:44:02	地震の分野な標高とかなんかそこそこはわかるような形でちょっと示していただきたいなと標高という形だったので私も全部一応見てみたんですけどすいませんね細かいことで補足の5ページっていうのは、
0:44:18	これ多分TPで
0:44:20	書かれていて、何でかって言うと、多分これ地盤安定性なり、敷地内か何かのところから持ってきたんじゃないかなとは思うんですけど。
0:44:32	ちょっと分野間っていうのと、この地震の中でもちょっと不整合があったりするんで、そこはちょっと最後もう1回ですね、再度チェックをしていただきたいと思いますんで、よろしくお願いします。とりあえず私からは、
0:44:48	以上です。
0:44:51	中国電力のアビルです。今のサービスご指摘標高とTP話なんですけども、島根のあのサイトではですね標高とTPPはイコールになっておりますので、表現の仕方がばらついているという御指摘審査会合でもいただいておりますので、
0:45:08	今のどう建築先ほど秋山が申しましたように、すべてのチェックをローラー作戦をしてかけておりますので、次回提出させていただくときには統一させていただきたいと思っております。以上です。
0:45:25	はいサグチです。じゃあそのません。そのあたりはよろしくお願いします。
0:45:54	規制庁タニです。
0:45:56	さっき何か統一するっていう話ありましたけど、津波は、だから最初っからTPPなって、
0:46:02	TPPで書くのが
0:46:05	正しいのかなと思うんですけど。

0:46:07	toto統一っていうのは何か。
0:46:11	今の考えを聞かせてもらえますか、地震動とかTPPに変えようと思ってます。
0:46:28	中国でいいのかなアビルです。今のちょっと御指摘に関しましてはですね運行全体を全部統一するのですね資料の中で統一するののかも含めてですね、ちょっと検討していきたいと思います。ただし、資料間で異なる場合はですね最初のほうで定義してですね。
0:46:46	しっかりわかるようにさせていただきたいと思います。以上です。
0:46:52	タニです。はい、それをお願いします。
0:47:15	規制庁ののですがちょっと違うお話 182 以降の話なんだけど。
0:47:23	っていう基準地震動の策定のところで、
0:47:27	特定してのところでまず応答スペクトル包絡する形で設定をして決定をします。
0:47:34	っていうね。
0:47:35	D
0:47:36	187 日程断層モデルによるMW系地震動ということで、
0:47:43	Ss議員位置との比較が宍道だけになっちゃって、
0:47:52	そのあと結局信じた件になるんだけど。
0:47:56	ドンで宍道だけに、
0:48:01	焦点を当ててるのかっていうところがすぼっと抜けちゃってんだけど。
0:48:10	中国電力のアビルです。隣さんをご存知のように海域の断層の結果はですねSDの方にあまり近接していないということもあるんで。ただそのあたりのことがですね書いてないので、
0:48:25	そういうところはちょっと注釈を入れてですね、わかるようにしたいと思います。以上です。
0:48:33	規制庁の後ですけど、できればSSDH等、
0:48:40	これから 166 ページの前。
0:48:45	断層モデル。
0:48:46	を書いたやつをどっかに乗っけてもらおうとすごくわかりやすいと思うんだけど。
0:48:55	中国電力の秋山です。ご指摘承知いたしました。その資料の中に反映するようにいたします。
0:49:02	です。
0:49:04	はい、我々議論してきてから中身としては、
0:49:10	いや、わかっているけれども、
0:49:15	この資料だけを持っていくとその経緯がすぼっと抜けちゃうので後で見てわからなくなっちゃうので、そこはちゃんとSs議 1 だけ。

0:49:26	当信じ等海域断層、
0:49:32	を比較をしていて、全部包絡しているんだけども近接しているのは、神事なのでと信じについて検討を行ったってそういう流れだから、そこがわかるようにしといてもらえませんか。
0:49:49	中国電力の秋山です。ご指摘承知いたしました。以上です。
0:50:31	規制庁ナイトウですけれども、あと確認なんですけどハザード曲線のところも今計算してますって言うけどそれ。
0:50:40	がー
0:50:41	反映するとするといつぐらいの時期なんですか。
0:50:50	中国電力のアビルです先ほど言いました領域震源の結果についてはですね、 次回のヒアリングにはお示しさせていただきたいと思えますので、結果を見て ですね、
0:51:02	全体のハザードの計算必要がないということであればですね、そのままそのヒアリングで終わりでただもし影響があるということであればですね、これかなり1ヶ月ぐらいかかりますので、
0:51:17	別途最終の補正ぐらいまでには反映必要であればですね、したいというふうに考えてございます。以上です。
0:51:35	規制庁ナイトウですけれども、1棟。
0:51:39	計算として高次回のヒアリングてるけども、次回のヒアリングMwをどのくらいに設定するかって話になるので、
0:51:50	いつぐらいに示せるっていう感じなんですか。
0:51:55	中国電力のアビルです。頰椎けい酸結構ですね来週の月曜日に出きますので、基本的にそのままお出しするわけにはいかないのので我々チェック社内ですましてですねご提示できる細則
0:52:11	例えば、火曜日あたりには、データとしてを提示することは可能です。先ほど言いましたように、今の領域震源のハザードと今回出したハザードの重ね書き、その紙を出すことは来週の火曜日であれば、
0:52:29	だというふうに思っております。以上です。
0:53:47	規制庁ナイトウですけれども、えっとね、どうしましょうかといってもこれって基本的に中国電力クレジットの資料ですので、会社としてどう判断したのか。
0:54:00	影響あると判断するのか、影響がないと判断したので、全部最終的なハザード決定に影響がないから今のままでいいです。
0:54:09	そう。
0:54:10	いうふうに判断したするのか、いずれにしろ計算結果出てないとわかんないと思うんだけど。

0:54:17	検査の影響が知見反映した結果として影響が軽微であって最終的なハザードの影響がないとするのであれば、これ本体じゃなくて参考側に落とすとかって話になると思うんだけど、説明としての部分でね。
0:54:32	そこをどういう形で求められるのかってのはよく事業者として、考え方を明確にして欲しいと思いますので、そこをお願いします。
0:54:46	中国電力のアビルです。まさに今の儘田さんがおっしゃった通りですね、影響がないのであれば、本体のほうにですねエクスキューズをお米なり売ってですね影響がないということで参考資料に飛ばしてですね。そこで影響がない領域、
0:55:03	震源のハザードだけの比較を示して最終的には本体には書かないということを考えてございますので、それも先ほど内さんおっしゃったように、基本的には結果を見てということですけども、今我々はそうそういうことになる可能性が一番大きいのではないかとこのように考えてございます。以上です。
0:56:08	規制庁のスガヤですけども、最新知見の観点からちょっと1点だけ確認させていただきたいんですけども、
0:56:16	本編資料の169ページ。
0:56:19	お願いします。
0:56:25	本編資料の169ページには、2008年の岩手宮城内陸地震のことが書いてあって、表で、
0:56:33	前岩手宮城の震源域の周辺とサイト周辺の比較が書いてあります。
0:56:40	下3行は参考なんですけれども、
0:56:44	中国地方にも、ひずみ集中体、
0:56:48	っていうのはあることはあるとGPSとかで、
0:56:51	示されていたりはするんですけども、
0:56:54	一番右側の列を見ると、
0:56:57	サイト周辺っていう書き方が書いてあるんですけども、この周辺っていうのは、これ30キロくらいのことをおっしゃってるんですかね、ちょっと確認させてください。
0:57:10	中国電力の井上です。
0:57:13	中国地域についてはひずみ集中体ということでそういった治験論文が出ていることについては承知しておりますが、ここに書いてある。
0:57:23	集中体ではないというのは、
0:57:27	官等のえっと、おそらくひずみ集中体って今言われているのは宍道湖よりも南側部辺りの地震がは多く発生している地域だというふうに認識をしております、

0:57:39	島根原子力発電所の周りでは秘密中級対応はないと。
0:57:44	いう判断をしております。
0:57:46	以上です。
0:57:49	はい。
0:57:51	規制庁の菅井です。
0:57:53	発電所は多分多分じゃなくて
0:57:56	ひずみ集中体と照らし合わせると発電所自体は入っていないってことだと思わんですけれどもその周辺っていうのはどこまでなのかによってはです。
0:58:05	引き継ぎといったような中に入ってくると思うのでそこはちょっと文献と照らし合わせてちゃんと確認をして反映しなくちゃいけないのであれば、反映していただければと。
0:58:18	お願いします。
1:01:25	規制庁サグチですけど、ちょっと今の 169 ページの同じような特定せず、
1:01:31	というところで、
1:01:33	ちょっと、
1:01:35	なんて言うんですかね。
1:01:37	その周辺とか何かあるんですけど、そもそもが特定せずって。
1:01:43	だから、
1:01:44	近傍っていうのはごく近傍というか直下だったり、そういう話。
1:01:49	じゃないかなあというところもあるんですけど、御社は少なくとももう周辺として一括、一括でここを対比されているっていう
1:02:01	そういう理解でよろしいですか。
1:02:05	中国電力のアビルです。先ほどの件ちょっとはっきり言いませんでしたけども基本的には半島のところ要するに敷地の位置のところっていうイメージでありますので、ちょっと言葉があまりよくないので、周辺となると、どこまでかっていうこともございますので、
1:02:22	今サグチさんがおっしゃられたようにも特定せずに関しましては要するに敷地本場の近いところのイメージですので、そこら辺は文字はですね、修正させていただきます。以上です。
1:02:38	はい、サグチですけども、168 ページにそうそうそういったようなことを書かれていて、当然ガイドとかも含めて御敷地近傍におけるまず地震観測網工記録を収集していると。
1:02:50	そうなるのでちょっとそこは予後がですね、我々の基準規則とか、あとまだ色とかそういうものの、

1:02:59	照らし合わせてちょっと適正化をお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひします。
1:03:08	中国電力の秋山です。その記載ぶりをGuide等参照しまして検討したいと思います。以上です。
1:03:28	規制庁クマガエです。
1:03:30	今のところについてはよろしくお願ひします。
1:03:33	では、続き深度については、コメントできましたので、
1:03:36	続いて次のところについて御説明をお願いいたします。
1:03:40	すいません中国電力の山野でございます。地震動に関しましては先ほどアビルが申しあげましたように、若干計算するのも残っておりますが、来週には日 で2回目のヒアリングを設定していただくべくですね、来週早々にはですね、 中国電力のコミット
1:03:58	をしたものを資料をですね、提出させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。
1:04:05	以上です。
1:04:12	はい、規制庁クマガエです。はい、よろしくお願ひします。また
1:04:16	そうですね資料についてはまたでき次第ですねまたご連絡いただいて、
1:04:20	調整できればと思っております。
1:04:30	はい、すいません、電力のイマムラです。それでは続きまして、陸域の資料の御説明をさせていただきます。
1:04:37	まず全体概要の資料としてPE082回03の全体概要資料を御確認ください。
1:04:47	こちらで青字で書かれておりますのが前回の概要資料から変更になった箇所になりまして、宍道断層の西端の評価及び東端の評価を以下の通り修正しております。
1:05:00	まず西端の評価につきましては、申請時の西端凍ら製法の西側を含め、古浦より西側の海域、陸海境界付近、陸域のいずれの調査地点においても、宍道断層の延長部に対応する断層は認められないが、陸海境界付近の調査結果の不確かさを考慮し、ボーリング調査などにより、
1:05:19	精度や信頼性のより高い調査結果が得られている三島を西端として評価。
1:05:24	と記載させていただいております。
1:05:26	東端の評価につきましても新生児の東端下宇部尾東において幅広な剥ぎ取り調査等の結果、宍道断層に対応する断層は認められず、さらに東方の森山におけるトレンチ調査等の結果、後期更新世以降の断層活動は認められない。しかしながら、

1:05:44	地震調査研究推進本部 2016 年において宍道断層統合活断層の可能性のある構造としてPワンと評価しておるため、その周辺の地質について詳細に調査した結果、陸域では一部の断層除いて上載地層がなく、後期更新世以降の断層か。
1:05:59	活動が完全引きできなかったこと及び陸海境界付近の調査結果の不確かさを考慮して音波探査により精度や信頼性のより高い調査結果が得られ、かつ、ミウラ重力異常が認めないことを確認している美保関町東方沖合東端と評価を記載させる対応おります。
1:06:16	その他の宍道断層とていう規制部断層連動評価、及び新大社衝上断層の評価長さ見直しについての青字につきましては、
1:06:26	記載を本編資料に書いてあることを記載させていただいております。
1:06:31	では続きまして、本編資料の御説明をさせていただきます。本編資料のPE 070 回 04 及び補足説明資料若い 03 を
1:06:42	資料になります。まず本編資料のEP070 の、
1:06:47	科医 04 の 3 ページをご参照ください。
1:06:57	本編資料の 3 ページには、先ほどご説明させていただきました。宍道断層の西端及び東端への評価の記載をそれぞれ修文させていただいております。合わせて 5 ページの図にした。
1:07:10	宍道断層の調査結果につきましても、東端及び西端の評価結果を青色で、
1:07:16	一部修文させていただいております。
1:07:19	まず西端の評価結果につきましても本編資料の
1:07:25	49 ページをご参照ください。
1:07:30	すいません 48 ページをご参照ください。
1:07:37	すみません、まず本編資料の前提の
1:07:41	資料の構成から御説明させていただいてすいません。まず本編資料の構成につきましても記載として考えられるについての記載の適正化に関しまして、考えについてはデータ調査結果に基づき当社が判断する場合には、判断する場合には評価した判断した及び考えるなど、
1:08:00	その状況に応じて、想定推察の域を脱しない場合などによって、使う場合分けを適正化させていただいております。
1:08:09	また宍道断層の端部評価についての記載の適正化及び前回会合で指摘されております。分岐断層へ枕ぎ山東方及び高尾山西側の調査結果を本編資料に移動させておりますがまず 48 ページの
1:08:24	西端評価につきましてもご説明をさせていただきます。

1:08:30	こちらに図示しております通りコーラより製法にリニアメント等はお教えを除き確認されておりましたが、追加調査の結果、古浦沖せいでは、宍道断層に相当する断層が確認されておられませんことから、
1:08:46	先ほど述べたように西端評価の記載を修文させていただきます。また女島につきましては、分岐断層位置が示されておりますが、ボーリング調査の結果により浅部及び深部で断層を確認しておられませんので、
1:09:01	そのことをボーリング調査等によりっていうことをさらに追加させていただきます。
1:09:07	精度や信頼性のより高い女島を西端としたことを記載させていただいておりますが続きまして、145 ページ、148 ページをお願いいたします。
1:09:20	うん。
1:09:23	すみません 147 ページです。次が 147 ページに宍道断層の東端の評価の結果の概要を示しております。こちらにつきましても、宍道断層の東端評価を冒頭に述べさせていただいたように修文させていただきます。
1:09:39	続いて 148 ページをご参照ください。
1:09:43	148 ページには、宍道断層の分岐リニアメントとして示されております。枕ぎ 3 東リニアメントに相当する巻き上げ山東方の調査結果、及び方案リニア目、もう一つの分岐として示されてる方だリニアメントに相当するうい福浦の高尾山西側の調査結果を
1:10:02	本編に移動させております。まず枕ぎ山東方の調査結果について、
1:10:07	本編資料に載せたものを御説明いたします。まず、151 ページをご参照ください。
1:10:16	151 ページには、
1:10:19	吉田市末 8 号に示されております巻き上げ 3 東リニアメントを御説明させていただいておりますが、こちらは文献調査の結果組織地形であると判断されております。こちらの調査結果につきましては 153 ページをまず御参照ください。
1:10:37	153 ページには、比べ 3 東エリアリニアメント沿いの調査、地質図を示しておりますが、調査した範囲としては炉ロケーションN II 及びロケーションM案が確認されておりますが、ロケーションM II につきましては、
1:10:52	154 ページにせえへ。
1:10:56	計算させます掲載させておいておりますが、断層は認められません。続いて、さらにおっと。
1:11:03	北東のロケーションM案につきましての調査結果につきましては 156 ページ御参照ください。
1:11:10	こちらにつきましては、

1:11:12	上層地層の泥岩と管理側の境界付近に断層が確認されておりますが、こちらの
1:11:18	リニアメントにつきましては貫入がんと泥岩との岩相差を反映した。
1:11:24	組織地形と評価をいたしております。そのまとめとして、次の 157 ページをご参照ください。
1:11:33	これらの調査結果から枕ぎ三島方法について、
1:11:38	後期更新世以降の断層活動は認められず、変位地形リニアメントは泥岩とか乳癌というがん操作を反映した組織地形と評価したことにより、こちらにつきましては、宍道断層は連続しないと評価しております。続きまして高尾山西側の調査結果について御説明をいたします。
1:11:57	まず 213 ページをご参照ください。
1:12:05	213 ページには文献調査といたしまして、亀雄市第 1985 が
1:12:10	オダリニアメント、
1:12:13	この青青色の 1 のほうに御説明を紹介しておりますが、こちらの
1:12:20	場所につきましてはまず戻っていただいて 212 ページ目を御参照ください。
1:12:26	この方だリニアメントは、この赤丸で示しております。地震調査研究推進本部 2016 年に示された重力異常と地質構造から推定された構造的不連続P湾とは斜交したような形状し示すリニアメントでございます。
1:12:42	こちらの調査結果につきましては、
1:12:45	まず 218 ページ目を御参照ください。
1:12:52	放題リニアメント沿いの調査結果といたしましてはロケーションTW案A炉道路沿い、
1:12:59	興産西側地点②高尾山に 4 月で①、
1:13:04	は、前に紹介させていただきます。まずロケーションTWはにおける調査結果といたしましては 225 ページ目を御参照ください。
1:13:15	こちらのロケーションPWRにつきましては、A断層及びB断層が確認されておりますが、両断層ともに固結密着して描いじゃ確率が認められません。A断層につきましては、上部の古浦層に
1:13:29	に変位が認められないこと、またAB断層と比較し、断層のほうが、変位が非常に大きいことから、ABは基本的に同じ時代で活動したものと思われ、両方とも。
1:13:43	古浦層の上部が堆積したときには変位が足りていないと考えることがこちらについては、後期更新世以降の活動は認められないと評価しております。続いて、

1:13:53	1 月時点の②の調査結果を示したものが 220 ページにございますのでご確認 ください。
1:14:03	220 ページに
1:14:05	視点 2ー
1:14:07	御説明としては、正断層が確認されておりますが、断層付近、
1:14:13	2 面は密着風化は進んでおりますが面は密着し、破碎は認められません。ま た層理面の走向傾斜乱れ縁見られも認められないことから、後期更新世以降 の断層活動は認められないと考えておりますが、
1:14:28	こちらについては上載地層が存在しないため、公金を申請以降の断層活動を 完全には否定できないと評価しております。
1:14:35	さらに北東に分布しております地点 1 に関しての評価結果 219 ページをご参 照ください。
1:14:45	こちらにつきましては、だA断層は認められないことを確認しております。以上 の結果から 229 ページ目を御参照ください。
1:14:56	以上の結果をもちまして高尾山西側の変位地形リニアメント沿いに関しまして は、地震調査研究推進本部 2016 年に示された重力異常の地質構造から推 定された構造的不連続とは斜交すること。また道路沿い地点には上載地層 がなく、
1:15:12	後期更新世以降の断層活動完全には否定できないと評価したものの絵を継 承PWRでは後期更新世以降の断層活動は認められないこと及び北東の変 位地形リニアメントの通過位置付近H. 1 を含む。
1:15:27	の結果、断層が確認されないことを踏まえ、高尾山西側の変位地形リニアメン ト沿いに宍道断層は連続しないと評価しております。
1:15:36	続いて 230 ページ目を御参照ください。
1:15:42	230 ページ目以降は、日本語版及び日本籍ちょっと崩壊の調査結果を示して おりますが、こちらの
1:15:49	調査結果、調査をするにあたっての記載を記載の充実化を図っておりまして、 宍道断層は高尾山西側連続しないと評価した一方、地震調査研究推進本部 が島根半島東部の重力異常により構造的不連続
1:16:04	地形的特徴等により宍道断層東部の火山Pはもう記載することを踏まえまし て、調査をしたことを追記しております。
1:16:15	うん。
1:16:16	こちらにつきましては前回審査会合で巻き上げ山東方につきましては黄色、白 枠の
1:16:24	次は生じておりましたが、

1:16:28	設計、前回の
1:16:32	記
1:16:32	すみません、約
1:16:36	262 ページ目を御参照ください。
1:16:44	200 すみません 263 ページ目を御参照ください。
1:16:48	こちらに記載させていただいております。白枠記録の評価が正しい
1:16:55	雨、前回宍道断層の評価結果でまとめて紹介させていただいております参考資料の
1:17:02	記載については、誤解を招くため削除させていただいております。
1:17:06	続いきまして、東端の調査結果につきまして、266 ページ目を御参照ください。
1:17:16	こちらにつきましても修文をさせていただいております、
1:17:21	青文字で主に修正をさせていただいておりますが、
1:17:24	Hはもう東端の以下のように、全冒頭で御説明したように修文をさせていただいております。
1:17:34	続きまして、補足説明資料の 243 ページ目を御参照ください。
1:17:50	こちらも前回審査会合におきまして、福浦地蔵崎
1:17:55	冒頭でいきなり地質図が出てくるということで、前段の冒頭の記載は修正させていただいております青字で修正させていただいている通り、文献調査の結果、F。
1:18:08	文献ごとに地質分布や断層群とは異なることから、地表踏査、
1:18:13	地表地質踏査を実施し、広域的な地質分布を確認して、上記の地質を作成いたしました。
1:18:20	次の 244 ページに、
1:18:23	それを原因となった各種文献の
1:18:26	前回、すでに会合で説明している資料を追記させていただいております。
1:18:32	主な変更点は以上になります。
1:18:42	規制庁クマガエです。はい、御説明ありがとうございます。
1:19:11	生徒のカイダです。
1:19:16	これ今反映したところ、説明ありがとうございます。
1:19:22	それで改めて少し確認させていただきたいんですけども、
1:19:29	例えば、
1:19:33	東のほうですね。
1:19:36	今回高尾さんと、あと、
1:19:39	枕ぎさんを本編のほうに持ってきて枝分かれ部のところについて、

1:19:45	そっちにはいかないんだという説明を入れていただき、いただいたんで、その点確認できました。で、系統、
1:19:54	ただちょっと
1:19:56	図がですね、例えば、
1:20:06	263 ページに、
1:20:11	高尾山とか、
1:20:13	うい福浦高尾山西側ってところの説明があつて、
1:20:18	その周りも含めてなんですけれども、
1:20:23	箱書きの中にぽつぽつが三つぐらいあつて、
1:20:27	大野学校どれを指してるのかっていうのが、
1:20:31	これさっきの最初の
1:20:34	この辺りの調査結果の
1:20:37	配置図とかが
1:20:41	218 ページにあるんですけれども、
1:20:45	これ照合し、1 ポツ目のやつが 263 ページで言うと 1 ポツ目のやつが、
1:20:55	地点①、
1:20:58	で、
1:20:59	2 ポツ目が、地点②、
1:21:04	んだと思うんですが、
1:21:07	3 ポツ目。
1:21:09	ちょっとこれ対応がどうなってるのかちょっと確認したいんですけれども
1:21:14	でこれだけ見るとなかなか対応がわかりづらいので、できればちょっとちっちゃいのでなかなか難しいとは思うんですけれども。
1:21:22	どれがどこに対応してるのかっていうのが、
1:21:26	わかるように機能で表現されるとわかりやすいんですけれども、
1:21:33	いかがでしょうか。
1:21:38	中国電力の今村です。承知いたしました。なお、263 ページの高尾山西側についてにつきましては、1 ポツ目がH. 12 ポツ目が、TW案 3 ポツ目が、
1:21:53	視点 2 に相当しております。こちらについては、わかりやすくなるように修正させていただきます。
1:22:01	はい、わかりました。じゃあ、或いはそれよろしく申し上げます。
1:22:06	あと付け加わったところのえっという意味でいくと、
1:22:17	先ほど最後に説明いただいた。
1:22:20	補足説明資料の 200。
1:22:23	40

1:22:25	何ページ。
1:22:28	地質図が並ん並んだのつけましたというところの説明に 140。
1:22:34	予算ページから 244 ページにかけてなんですけれども、
1:22:38	この正当。
1:22:42	添付いただいたこれこちらのイメージしていたものがこれですので、ここにて結構なんですけれども、
1:22:51	一つ確認なのは、
1:22:54	244 ページの真ん中の
1:22:57	可能中の 1985 というのは、
1:23:02	これ白黒で入ってるんですけれども、
1:23:07	確か
1:23:09	本文
1:23:11	確か説明書の中は白黒ですけど。
1:23:15	実際地質としてついてるのはからだったと思うんですけれども、
1:23:20	それからのほうがわかりやすいように思うんですけどこれ白黒にしてるのほうを使ってる意味って、何か理由とあるのであれば、ちょっと
1:23:30	確認したいんですけれども、
1:23:37	中国電力の今村です。こちらの白黒を使って流に
1:23:42	深い意味じゃありませんでしたので、ご指摘の通り、色つきの実数を採用して修正いたします。1 するようにいたします。以上です。
1:23:56	はい。その点よろしくお願ひします。
1:24:00	それでちょっと
1:24:04	今回の会合を踏まえた修正とは別の観点での確認というか、
1:24:14	資料の充実化っていう点で
1:24:17	なんですけれども、1 ページに、
1:24:21	敷地周辺の評価した断層の分布、
1:24:27	が書かれてますので、
1:24:29	マーケット結論としては同じような図が 360
1:24:35	4 ページ
1:24:38	にあります。
1:24:41	で、364 ページを見ると、ここにこうちょっとフローチャートみたいなものついていてですね、こう上から見ていくと、敷地
1:24:53	近傍近傍っていうのは 5km っていうのを指しているという。
1:24:58	ここから読み取れて近傍の断層っていうのは、この前のページにも説明されてるんですけれども、

1:25:04	ちょっとこの図 364 ページにしても、
1:25:08	1 ページにしてもですね、この 5kmの範囲がどこかっていうのが、
1:25:13	わからないのでどれがどれに該当するかというのがちょっと読み取れないので、5kmの線もですね、この円を
1:25:23	この図に追記いただきたいんですけども、
1:25:28	そこは対応お願いしますであわせてそこ確認なんですけれどもこの 5km以内にかかっているのはこの 364 ページで言うと、
1:25:39	日活動性が否定されているのも含めて、どれがこの近傍っていうのに入っているのか確認したいんですけども、よろしいでしょうか。
1:25:57	中国電力のイマムラ所掌を確認いたしましてお待ちください。
1:27:18	中国電力の今村です。
1:27:21	とちやえにつきましては参考資料一になってしまうんですが、
1:27:27	知事規模に相当する断層といたしましては、布団と山中付近断層が相当、それに相当いたします。
1:27:38	規制庁のカイダですが、わかりました。宍道断層は、はいはいらんと入っているように見えるんですけど宍道断層も入ってるということでよろしいですか。申し訳ない。中国電力の今村です。申し訳ありません宍道断層も含めて含めて三つの断層が近傍断層に含まれております。
1:27:58	はい、カイダですわかりましたじゃ
1:28:01	下記のうち、北側っていうのは近いけども、これは 5kmじゃなくて、
1:28:07	近傍に入っているのは、
1:28:09	とんと山中金と宍道断層ということで、それがあの図からもですねわかるように、先ほど申し上げたように 5kmの図を
1:28:20	この、ここの今の 364 とか、
1:28:23	最初の 1 ページとかにておいていただきたいので、
1:28:27	お願いします。
1:28:31	中国電力の今村です。承知いたしました。
1:28:36	はい、規制庁の改善、ちょっとまた先ほどの東端のところの話に戻るんですけども、もう一度 260 何ページもですけど 260、
1:28:49	3 とか、
1:28:51	お願いします。
1:28:56	で、ここまたまたわかりやすさの観点からっていう意味でなんですけれども、ここの白い丸とかですね
1:29:09	黄色い丸がですね、まず丸が小さい、小さいの仕方ないんですけども、

1:29:16	青い線と重なっていたりとかほかの線と重なっていたりしててですね、かつそれがしろと薄い黄色っていう形で、
1:29:28	なかなか
1:29:30	わかりづらいようなところもあるので、
1:29:33	いろいろ色合いをですねもうちょっとこう、両者がわかりやすいような色合いに
1:29:39	263を含めて、この同じような図が何枚かあるんですけども、
1:29:46	識別しやすいような議論着色み変更をしていただきたいんですが、色は何色を使っても結構なんですけれどもその辺いかがでしょうか。
1:30:02	中国電力の今村です。
1:30:05	承知いたしました。同様のルールの内容の
1:30:10	時につきましても同じようにわかりやすく、いろいろ修正したいと思います。以上です。
1:30:20	はい。
1:30:21	カイダです。じゃあ、よろしくお願いします。
1:30:25	それで、ここに関連してですね今回はちょっと取ってしまう。もう掲載するのをやめましたというふうにおっしゃってた前回の
1:30:34	審査会合の 200、
1:30:38	60 ページとかの図なんですけれども、
1:30:42	これ何か誤解を招くということで今おっしゃったんですが、
1:30:47	前回の 260 ページの図なんかは、
1:30:52	結構ここ全体が丸が表記してあって、シンプルで、
1:30:57	わりとわかりやすい図かなと思って。
1:31:01	てたんですよ。で、この図を
1:31:04	なんて言うんですかね、間違いのないように更新されるんで
1:31:09	だからわかりやすいんじゃないかなと思ってたんですが、
1:31:14	図がこう何か誤解を招くんで決済しなくなったという、そこをもう一度、
1:31:22	確認したいんですけども、
1:31:25	何かちょっとこう、別の意味の
1:31:28	図としてつけてあったんっていうそういうことでしょうか。
1:31:35	はい、中国電力の田中です。
1:31:37	まず今回前回ご指摘集会ご意向出席がありました資料については掲載を取り上げさせていただいたというお話をさせていただきました。
1:31:47	あと先ほどから本日の資料の中で、例えば御指摘あります 263 ページの資料で御説明させております。おりますけれども、個別の地点としましてはもうこれほどの丸が、実際はあるんですけど迷わ断層等が確認されたところ、

1:32:02	調査して断層はなかったところもありますけども、これらのマルがありますね。前回の会合をつけさせていただいたものはそのマルをですね、ある程度まとめた形でお示しをしていたところがありますので、ですから今回のこの 263 ページの例えばマルの数と、
1:32:20	削除した根拠資料というのはマルの数もまあ合ってなかったっていうのがまず 1 点です。そういったところでマルの数の不整合等もありましたのでそこは誤解を招く要因であろうということで、削除したっていうのがまず 1 点の理由でございます。
1:32:36	それと前回の会合の資料の中で当 200 すいませんって思って御資料あるかどうかわかんないんですが、259 ページと 260 ページの資料が違ってたんじゃないかと赤黄色とか白が違ってたんじゃないかっていう御指摘がございました。
1:32:54	確かにちょっと違っている地点が 1 点ございましたけれども、前回お示しました 259 の資料っていうのは、つい今回の知恵と新生児以降を追加調査したところはどこかっていうところを青色の白丸印でお示してたということでございましてそれについては、
1:33:13	資料なのか黄色なのかあったのかという判定を示さずにつけてたっていう資料でした。
1:33:18	もう一方で 260 ページのほうにはその判定結果というのを示していたということで、その点で色の違いというのがあったということでございます。まあそういったなんかよく読んでよく似た資料なんだけれども、ちょっと趣旨が違うもので趣旨が違う資料であったということで、
1:33:35	何か誤解を招くような資料でもあったのもうそれならも今回の 263 ページにお示しするように個別の地点の評価が白なのかキロなのかっていうのが明らかにわかるような試料の前のみをですね、こうした方が誤解を招かないという判断をいたしました。以上です。
1:34:19	規制庁のカイダです。経緯は確認できましたそういった
1:34:25	ことで、このんだけちっちゃい、沢山の点が、
1:34:29	実はあってそれをまとめた。
1:34:33	というようなところもあってっていうことだと思うんですけども、
1:34:38	図のわかりやすさの観点からいうとですね今回 206、12 とか 263 とか、
1:34:46	その辺りは個別の箇所がしっかり表現されていて、それはそれでいいと思うんですが全体の資料が、
1:34:53	どうかっていうと 268。
1:34:57	の
1:34:58	ところに行くんかの端っこと主立ったところ、
1:35:03	ぐらいが書いてあって、

1:35:10	前回の 268、60 ページに相当するようなやつは
1:35:15	やっぱりなんかサイズのところをしっかり入れ込むのは難しいという、そこ
1:35:22	ことですかね。全体がわかる人目でわかる図としては、前回、前回の 260 みたいなものがあつたら、理解がしやすいと思ったんですけども、
1:35:35	なかなかチャレンジされてん難しかったという、そういった経緯もあるんでしょうか。
1:35:46	配置おく電力のカシマです。先ほどのタナカのほうから申し申し上げた点を踏まえてさ、今回削除させていただいている次第でございますと、こちらのほうをつけた方がですね、より説明性がよいということであればですよ。例えばその丸の地点に来て目を入れるとかです。
1:36:05	そういう形でお示しをすることも可能かなと思いますので、そういった工夫を試してみたいと思います。以上です。
1:36:13	規制庁のカイダです。そうですねちょっとどういった形になるかわからないんですけども、ちょっと工夫していただいて説明。
1:36:23	性が高い。
1:36:25	と思われますので、その二つの検討もよろしくお願いします。
1:36:32	はい、中国電力カシマです承知いたしました。
1:37:09	規制庁ナイトウですけどもさっきマル。
1:37:12	もう黄色の色の扱いをちょっと検討くださいっていうお願いしてますけれども、
1:37:18	これ多分住民説明外向けに説明するときにも、この図面を我々も使ってくるんですけども、
1:37:26	会場とかで、
1:37:30	見るときに、黄色だとやっぱり見づらいで画面に映しても見づらいので、その辺はちょっとコントラストがよく入るような形で色づけを考えてもらえればと思うんですけど、よろしいですか。
1:37:45	はい、中国電力のカシマです趣旨理解いたしましたので、2 番、できるだけ見やすいような形で工夫させていただきたいと思います。以上です。
1:37:57	中国電力シミズです若干補足させていただきますと我々もその色はですね機器かなり工夫したつもりでして逆にしたのですねリニアメント内科は消えないようにということですね、若干薄めの色を使っているという経緯もありますけど、今の御趣旨は、
1:38:13	色の、ここなんていう判別のほうが大事だということなので若干リニアメント等が消えてしまう可能性もありますけど、しっかりわかりやすい資料にさせていただきたいと思います。以上です。
1:39:08	規制庁の伊藤です。ちょっと細かい点なんですけど。

1:39:12	刀禰地震本部がいてルピー湾の青線のところって、
1:39:18	当事業者の資料になると線量はなくて、この辺っていう楕円で囲っている形になっているんだけど、これ地図の上にせんでこの辺に引いてますってどっかで示せませんか。
1:39:50	はい、中国電力の田中です。今ご指摘がありまして資料の本編資料の 35 ページの
1:39:58	推本の青線のことをおっしゃられてるかなと思っております。理解しました。
1:40:03	これ実は推本の資料、地震本部の資料の中には楕円で書かれている資料がこの解説のほうに入っておりますそれをもう少し細かい資料だろうということで楕円形で記載をさせていただいてるというのが事情でございますけども、
1:40:19	その楕円にこの青線を
1:40:22	Mark付け加えるということで理解しましたけれどもそれでよろしいでしょうか。
1:40:53	規制庁の伊藤ですけども、確認薄い方はこれPO&線で引っ張ってるだけでいいんですよね。
1:41:01	中国電力タナカです。1 推本さんは青線で引っ張っているパターンとですね、台形で変えているパターンと両方示されておまして、解説のほうには楕円形もう少し詳細に言えば、この範囲で 16 班 16 条認められるだろうということで大変形でお示しされていると。
1:41:19	いうふうに理解をしております。以上です。
1:41:32	規制庁後ですけども、やっぱり熱水Ⅳ-2016 えを引っ張ってきてここにp湾がありますって引っ張っているわけだからこれを地図上に落とすとどこに線が引かれるのかってのはちょっとわかるように引いて欲しいんですけども、よろしいですか。
1:41:53	はい、中国電力の田中です。承知いたしました。基本的に当社で今お示しているタウン円形の単点結ぶような形で線を引くような形になるかと考えております。以上です。
1:42:54	規制庁ナイトウですけども、今楕円で示してるやつに全部線引く等、
1:42:59	下のやつと重なっちゃったりとかいろいろ出てくると困るので、全部に引く必要はないんだけど、楕円の形の範囲とこのPワンで青線で引っ張ってるはいつていうのがどういう形になってるのかって地図上でどっかでまずは。
1:43:15	1 回示した上で、あと代入するとか、そういう工夫はちょっとしていく。
1:43:21	もらえませんか。
1:43:27	はい、中国電力の田中です。
1:43:30	趣旨は理解いたしました。本日の資料でいきますと 35 ページのほうに絵と地震本部のまず紹介がありますので、おそらくこの次のページあたりにですね、その大円筒この青の線との対応関係というのを示したいと考えております。

1:43:46	以上です。
1:43:55	規制庁のですねこれ 35 ページから 30 個の後ろに楕円と青線の環境いると、この楕円っていうのが何なのっていうのがユリようわかんなくなっちゃうので、そこはよく注意してください。
1:44:16	中国のタナカです。期生掲載場所も含めてですね、記載場所を記載の方法を検討したいと思います。以上です。
1:46:13	規制庁の後ですけども、
1:46:15	ね、今西端じゃね東端の話をしたんだけど。
1:46:20	水位フォントかデジ活 2018 で引っ張っている。
1:46:29	西端統治ずっと現状どう評価地点との関係がわかるものってどっかでありましたっけ。
1:46:42	はい中国電力の田中です。263 ページ。
1:46:46	262 とか 264 でもってよろしいかと思えますけども、
1:46:51	このページに記載しております。
1:46:56	忘れたんですか。
1:46:57	少々お待ちください。
1:47:14	143 ページをお願いいたします。
1:47:21	はい。
1:47:23	143 ページ変位地形リニアメントCランクとちょっとよく似たようにはなってしまうんですが、緑、少し色の緑で今泉ほか編 2018 による宍道断層ということで、ちょうど
1:47:35	39kmと書いたところの上、宍道断層評価長さ 30kmと書いたところ、上はですね、古浦製法の辺りぐらいまでぐっとこう青い線が引かれておりますけどもこれがデジタルって蓄圧の線になります。
1:47:49	推本についてはこれには、
1:47:53	具体的な規制はございませんが、
1:47:57	はい。こう古浦までと理解しております。以上です。
1:48:40	規制庁ナイトウですけども 1 とね、
1:48:47	ちょっとどこかでわかる形で、西側もう推本がどこまで言ってるのかというのを、
1:48:55	D図面上落とし込んでもらえませんか。
1:48:58	これ、
1:48:59	刀禰さん 15 ページのやつを見ると、これはオープンにしてるからこの死んだけど、いわゆる凍ら製法のどこまで赤が伸びて利用にも見えるし、ちょっとこれはちょっとユリよう確認だと思えますけども。

1:49:34	はい、中国電力の田中です。時振興部のもう少し詳細な資料確認いたしますと、ちょうどあれですね、
1:49:44	今泉ほか編の都政タニしている辺りまでを地震本部さんは引いているということを確認しましたので、それがわかるような記載をしたいと考えております。以上です。
1:50:07	規制庁ナイトウですけれども、
1:50:12	ユリ資料と活断層、
1:50:19	鳥栖t引いているのは、
1:50:22	地震本部等デジ活なので、それがどこまで図面上っていか、地図上のどこまで引いてるのかっていうのはきちんとわかるような詰めを
1:50:33	続けていってください。お願いします。
1:50:41	愛知送り込ん単価です承知いたしました。
1:54:01	中国電力のカシマですいません。先ほどのコメントの件で1点ご相談といえますか、資料のつくり建てつてしまして、
1:54:12	今、35 ページのほうで、推本の 2016 の増紹介させていただいておりますが、先ほど田中が申しましたようにこちら解説のほうにはダイノウエも含めたもう少し押さえずもありますので、そういった像ですね、例えば 36 ページということで、まずは文献調査結果ということで、
1:54:30	つけさせていただくこととあわせて、
1:54:33	最終的な評価としましては今、268 ページ。
1:54:38	こちらに宍道断層の評価結果ということで、西側の女島から東側の美保関東方沖合までの全体のあの絵を載っておりますので、例えばその手前にですね、
1:54:53	今の推本とデジ活と我々の引いてる評価の長さの線を重ね書きしたような増ですね、1 枚つけてそれらで活構造として示されている文献と当社の評価した断層長さというのがわかるようなものを作ったりしていただくと思っておりますがいかがでしょうか。
1:57:05	規制庁ナイトウですけれども、結論のね今のやつ結論のところの前 2 入るって話なんだけど。
1:57:14	ね。
1:57:18	法令推本な李デジ活っていうのは、調査をするにあたって活用していった仕上がりかを比較してるんで。
1:57:27	ではないんじゃないんでしたっけ。
1:57:34	中国電力のカシマです。おっしゃる通りでございます。
1:57:38	以上です。

1:57:40	んであればちょっと入れるバスをツリーと工夫をしていただきたいと思います。
1:57:46	さっきのやつにも関わるんだけど、地震のね。
1:57:53	の補足の 58 ページとか見ると、
1:57:58	終わりとかね調査地点と断層長さ等の関係がわかりやすく書いてる図面とかもあるんで、ちょっとこういうのも使いながらどうするのかってのは考えてもらえればと思うんですけども。
1:58:21	はい中国電力カシマです。地震のほうの資料も参考にしながらですね、ちょっとどうかどういった形で示すのがわかりやすいかというのはちょっと検討してみたいと思います。示させて示す場所も含めて検討させていただきたいと思います。
1:58:35	以上です。
2:02:32	通常のナイトウですけど、刀禰市断層の地表での最短距離サイトとの最短距離で
2:02:41	どっかに載ってます。
2:02:44	地震動のところで、
2:02:48	は、
2:02:49	あるけど、これ地表 90 でも地表じゃないんじゃない。
2:02:54	何でしたっけ。
2:03:12	すみません、ちょっと資料確認しますので少々お待ちください。
2:03:42	中国電力の井上です。
2:03:44	地震動の資料のほうに、宍道断層の大断層最短距離ということで、138 ページになりますけど。
2:04:04	規制庁ますけど、ここに所 90° ケースで最短距離
2:04:08	2.8kmって書いているのは、
2:04:12	理解をしてるんだけど。
2:04:15	これって地表距離
2:04:20	中国電力のイノウエの上端の距離じゃない。
2:04:23	上端の距離になります。
2:04:27	地表だともうちょっと短くなるんじゃないの。
2:04:32	中国電力の井上です。2km程度になります。以上です。
2:04:51	中国電力のアビルです。地表の距離今夏さんおっしゃられている地表の距離はですね計算には使わないので、ちょっと我々の資料の中には入っていないというのが現状でございます。以上です。

2:06:15	規制庁ナイトウですけれども、刀禰地質調査の結果としていいと断層がこっからここまでの長さであるというのと、それを踏まえるとは一番断層が一番いいんじゃない。
2:06:32	近いところで何キロの地点に出す宍道断層があるのかってのがちょっとどっかでわかるように記載をお願いできません。
2:06:40	地質の調査結果として、
2:06:43	中国電力のアビルです。今の御指摘になると、我々の断層モデルの計算とかになるとですね実際あるリニアメントより敷地にも安全側を考えて敷地に近いところに直線を引いておりますんで。
2:06:59	地質の調査はリニアメントからってということになるので、今我々が地震動と計算してるものより南側にあります。従って、その数字を書いちゃうと、若干を地震動のほうの長さで、
2:07:15	整合が生じるんですけどそこはもう別の資料だからよってという班たんでよろしいでしょうか。
2:07:22	以上です。
2:07:53	規制庁側ですけども。だからね、地震動のところでも努力時近くを置いていって言ってくれてるから近くなってるのは、
2:08:02	理解はしているんだけど。
2:08:05	地質調査結果として宍道断層が
2:08:09	敷地からどのくらいの距離にあるんですかというのを、
2:08:16	数字が欲しいんですよ。
2:08:32	貴重なデータ抽出調査結果要するにシミズです。
2:08:38	268 ですね。
2:08:43	入れナイトウさんのほうから地質としての宍道断層の欄やら一応掛けという話があって、それに対する答えが 268 のこの赤い線がですね。
2:08:54	地質調査結果としての宍道断層の位置ということでお示したものです。
2:09:00	なので、このし発電所との最短ここ裏の若干東側になると思いますけど、この最短距離をお示しどっかのところにお示しするのがこたえおこたえかなというふうに考えております。以上です。
2:09:17	次に、あんまり
2:09:19	地震動評価上あんまり関係ないんだけど、地質調査の結果として、
2:09:26	当発電所から何kmのところが一番近いところとして指示出されるんですかってのは、
2:09:35	確実に
2:09:37	聞かれるから、

2:09:40	皆さんの評価として何キロの地点に、
2:09:44	地質調査結果として断層を認定したのか。
2:09:47	というのをちょっときちんと数字はどっかに示して欲しいんですけども。
2:09:59	中国電力シミズです記載値はちょっと検討しますが、いずれにしてもどっかにかけたいと思います以上です。
2:10:24	中国電力のカシマです。先ほどの件につきまして改めて確認しますって、268ページが我々の調査結果としての宍道断層の位置の整理をしたものでございますので、この中に落とし込むことも考えてみたいと思います。以上です。
2:11:13	規制庁クマガエです。
2:11:15	はい。今できることについて確認できましたので、次の説明をお願いいたします。
2:11:31	ですから、
2:11:34	中国電力オダです。続きまして、津波評価について、資料番号EP082 回 03の検討反映事項の一覧表。
2:11:45	EP074 回 04 の本編資料及び生命飯豊町クマガエですいません。
2:11:53	ちょっとといった
2:11:55	次津波という話でしたけれども、
2:11:57	今の話の続きでちょっと海域のほうの説明を先にさせていただいてもよろしいですか。
2:12:05	1億連絡口カシマで承知いたしました。では海域のほうの説明をまず先にさせていただきますと思います。
2:12:19	中国電力の今村です。
2:12:21	それでは敷地周辺海域の地質地質構造についてのまとめ資料の御説明をさせていただきます。まず、AP082 回 03 の全体概要資料を御確認ください。
2:12:38	こちらにつきましても今回、
2:12:41	記載を変更した箇所につきましては青字で変更しております。
2:12:46	今回式周辺海域分布する断層につきまして、断層端部付近の活動性評価を行うために、複数の
2:12:54	調査、追加調査及び国交省内閣府文部科学省 2014 地区踏まえた検討実施した結果、6 断層について評価を見直し、評価を見直した件につきまして、
2:13:07	前回会合で変更内容ず実施したほうがわかりやすいとコメントいただいておりますので、今回海域の本編資料に変更内容を通知した資料を追加しておりますので御説明させていただきます。
2:13:19	まず本編資料のPE072 回 03 の会議資料ご確認ください。
2:13:28	まず本編資料の 3 ページから 5 ページ目には、前回お示しておりました。

2:13:34	主な変更内容の表を掲載させていただいておりますが、青字で記載した箇所は変更内容を補強するために追記をさせていただいております。これら内容を図示した資料をページ 6 ページから 11 ページに押ししてお示しております。
2:13:50	まずは 6 ページ目を御参照ください。
2:13:55	まず 6 ページ目には、F3 断層、F4 断層F5 断層から、まず御順に御説明をさせていただきます。
2:14:06	新生児ではF3 断層f4 断層及びf系つう断層の連動を考慮したF3 断層の東端から啓発撓曲の西端までの最大 51.5km評価しておりましたが、F3 断層の東端付近において、採泥調査を行った結果、
2:14:23	評価長さ 6kmから 4.5 に修正しております。またFKつう断層の西端付近につきましても同様に追加の音波探査と柱状採泥調査を行った結果、啓発当局が連続性を有するかつ当局ではないことが確認されたことから、
2:14:39	FKつ断層の西端を見直し、No.42 側線のF5 断層の西端までの最大 1G7.5kmを評価いたしました。その結果、
2:14:50	啓発当局がかつ撓曲なかったことから、F3 断層からF5 断層連動考慮し、48kmと未超過をしております。続きまして 7 ページ目を御参照ください。
2:15:04	7 ページ、7 ページ目には鳥取沖整備断層及び鳥取沖東部断層の追加調査を踏まえた評価を記載させていただきますとありますが、こちらにつきましても深層新生児では鳥取沖西武断層 37 キロ鳥取沖東部断層、約 51kmと評価しており、
2:15:21	新生児段階におきましては、A離隔距離が 10kmあることも考えへ連動を考慮しておりませんでした。2014 年の
2:15:33	知見を踏まえまして、
2:15:35	連動グルーピング
2:15:37	鳥栖するF55 断層系 15kmと評価されていることも踏まえまして、追加の調査。
2:15:44	を実施した結果、鳥取沖西武断層を約 40 秒鳥取沖東部断層約 50kmと見直し両者の断層を連動考慮し、最大 98kmと評価をしております。続きまして 8 ページ目を御参照ください。
2:16:01	こちらの太田沖断層につきましても、評価上は 47kmとしておりますが、東端の
2:16:09	評価につきまして、
2:16:10	評価を見直し、
2:16:14	No.21 のNo.は測線からNo.38.7 測線に評価を見直しまして、オダ沖断層最大 53kmと評価しております。
2:16:25	続きまして、1 ページ目を御参照ください。

2:16:29	9 ページ目に関しましても、国交省 2014 年にF57 断層が約 102kmと
2:16:36	評価されておりましたが、
2:16:39	こちらにつきましては申請時文献についてされていない断層として評価を実施していませんでしたが、知見踏まえて調査を実施した結果、既往の音波探査等の妥当性を確認しましたため、F57 断層、約 100km、108108kmと評価しております。
2:16:56	続きまして 10 ページ目を御参照ください。
2:17:01	10 ページ目にはけいわん当局へ決当局及びFKを断層の追加調査を踏まえた評価を実施しております。新生児はA系は当局。
2:17:12	当時 7kmと評価しておりましたK湾当局凍結当局 3.5kmの連動を考慮し、7kmと評価をさせていただいておりましたが、
2:17:20	国交省 2014 年の知見と追加調査の結果、K湾当局を 7 キロから 32kmに評価を見直したことで、F系を断層を活構造としてLOCAを見直すことによって、三つの断層を連動するものとして、
2:17:36	了解しました。なお、A系は僥倖につきましては、
2:17:42	断層面が南傾斜の断層面が想定されますが、F9 断層が基準のほぼ
2:17:48	ちょっとこの傾斜があるため、両者は地下で。
2:17:52	介護しないと考えますが、保守的に連動する評価しております。続きまして 11 ページ目を御参照ください。
2:18:01	11 ページ目に関しましても、不安F①断層及びF②断層の追加調査を踏まえた評価を実施しております。こちらにつきましては後期更新世以降の活動が認められないと評価をさせていただいております。
2:18:16	説明は以上です。
2:18:23	規制庁のカイダです。人前回の会合でのコメントを踏まえて資料追加されているのか確認しました。
2:18:34	イメージとしてはこういったところ、イメージしていて、すでに今までの会合でも似たようなのが示されていたかなと思います。
2:18:45	それで
2:18:47	ちょっとここ
2:18:48	確認なんですけれども、例えばですね 6 ページは、
2:18:54	前F3 からF5 についてこういった変更がありましたので、それは何でかって言うと、複数の音源により追加の音波探査等を実施した結果変わりましたという。
2:19:08	ことかなと思います。
2:19:10	そういった目で見えていきますと、例えば 9 ページの
2:19:16	F57 断層っていうのは、

2:19:19	上のタイトルで追加調査を踏まえた評価ということで、
2:19:24	なんですけども。
2:19:26	下の箱書きを見ると、
2:19:28	調査は、結局追加調査っていうのは、
2:19:32	してるしたんでしょうか。これ
2:19:35	何とか再検討というか、追加検討、地質調査上の
2:19:42	記録を
2:19:43	検討したのか。
2:19:45	それ以外に何か追加調査等なんかされたのかちょっとその辺りがわかりづら いんですけれども、ほぼ次のページのやつもそうなんですけども。
2:19:58	追加調査をしたのか。
2:20:01	そうじゃないのかっていうのはちょっとわかりやすく、わかるようにしていただき たいんですけれども、まず事実関係として、
2:20:07	指定して変更し、追加調査の結果変更したのかどうかっていう確認させていた だきたいんですが、
2:20:16	中国電力の今イマムラです。まず 9 ページのF57 断層に関しましては、期央に 地質調査図の音波探査が示されておりましたが、それに加えて当社でも追加 の調査を実施いたしまして、その音波探査記録の妥当性を
2:20:33	確認するために追加調査を実施した結果、この測線で、後期更新世以降の活 動が認められないことを確認しておりました。そのため、
2:20:44	2014 年新知見のほうではF57 断層 102kmと評価しております者が当社では 実施し、
2:20:53	この測線で確認されていないところまでをまで延ばして 108kmと評価しており まして、追加調査を実施しております。
2:21:06	規制庁のカイダです。そういった事実関係であればですね
2:21:11	6 ページであれば、複数の音源による追加の音波探査を実施してあるので。 同じような書きぶりで 9 ページも、
2:21:21	地質調査上の記録及び
2:21:24	複数の音源による
2:21:27	追加の何か音波探査を実施していう。
2:21:32	のが並びとして正確だし、事実関係がわかると思いますのでその辺
2:21:39	ちゃんとしたんであればしたっていうことがわかるように記載をお願いします。
2:21:48	中国電力のイワマです。承知いたしました。
2:21:51	タニにつきましては、所追加調査を実施いざ事がわかるように記載を見直すさ せていただきます。

2:22:02	いつものカイダです。10 ページのほうはいかがなんでしょうか。これ、これも
2:22:07	したんであれば、ちゃんとして
2:22:10	アピールのポイントかなと思うんですけども。
2:22:19	中国電力の今村です。
2:22:22	A系は撓曲 10 ページのK湾当局及び決撓曲付近につきましては追加音波探査を実施しておりましたが、敷地周辺海域に分布するF系を断層に関しましては、既往の音波探査記録の結果をもとに評価をしております。
2:22:38	以上です。
2:22:46	はい。
2:22:48	規制庁のカイダです。
2:22:49	ちょっと
2:22:52	事実関係としては、
2:22:54	申請時以降に何か追加で
2:23:00	調査をされたという。
2:23:04	ことなんでしょうか。それは
2:23:07	もっと申請に向けてその前にしてたのか申請以降に調査をしたんで、変わった。
2:23:15	のか。
2:23:16	あとこの文献は今文献を踏まえてっていうことはあるんですけども、調査自体はいかがなんでしょうか。
2:23:26	一応電力の田中です。10 ページの資料で御説明させていただきたいと思えますけれども、もともと当社の調査結果ですね何らかですこのK1 撓曲と経営に撓曲っていうのは確認をされておりました。
2:23:40	これにつきましては申請以降にもですね、追加の音波探査を実施しまして、少し掲示撓曲につきまして乗りますよということを確認して今回 7 キロから 32km に見直しをさせていただいたという経緯がございます。
2:23:54	それ以降にですね、黄門箇所Aと呼称の報告書が出てきまして、風景を断層と呼称しておりますけどもその断層が示されたということもございます。それにつきましてはですね直関数的に我々が調査したという結果を持っておりませんので、
2:24:12	DOSIRIS調査上のスパーカーの記録で再解析をやりまして、端部はここだということで 32kmを評価したというのが事実関係でございます。以上です。
2:24:25	はい。規制庁のカイダです。わかりましたの 2 ポツ目で西端K湾の
2:24:32	追加調査をやったとこれが新生児以降ということで

2:24:38	わかりました。なので申請事項の追加の調査をしてるっていう、それ以外も以外にもこの文献の
2:24:49	断層を踏まえて変更したということでじゃっ確認できました。
2:24:54	ですのでどれも一応申請事項の追加調査を
2:24:59	してから変更されたと。
2:25:01	いうことで、
2:25:03	それは
2:25:06	改めて確認なんですけども。
2:25:08	6 ページから 11 ページまですべて一応申請事項の追加調査が実施されているということで考えておいてよろしいですか。
2:25:19	はい、中国電力の田中です。その通りでございまして申請事項にするすべての調査は会議で調査しております。以上です。
2:25:30	はい、わかりましたじゃあのさっきの 9 ページのところは記載がそのわかるように、班員をお願いします。
2:26:51	規制庁クマガエです。
2:26:53	はい。会計についても御説明ありがとうございます確認ができましたので、
2:26:59	ちょっと起こり津波とかですね敷地内の話とか、
2:27:03	続いてまだ残ってるんですが、
2:27:06	時間が伸びていてですね、ちょっとこの辺りもですねちょっといろいろと予定がありまして、
2:27:13	ちょっと一旦今日のところはですね。
2:27:16	今のところでちょっと
2:27:17	ヒアリングについては終了させていただきたいと思うんですけども、残るものについてはですね、来週にも、
2:27:24	またちょっと長日程調整させていただいて、
2:27:27	内容確認をするですね時間をとりたいと思っておりますけども、
2:27:31	何か。
2:27:35	確認されたい点とか、あと来週、
2:27:38	月曜日とかですね。
2:27:43	都合の悪い時間帯等があれば、
2:27:46	教えてください。
2:27:52	中国電力山野でございますが、都合の悪い時間全くありませんので、よろしくお願いたします。
2:28:12	規制庁クマガエです。
2:28:14	それから、ちょっと来週月曜日の時間とかですね、

2:28:19	文字的に別途調整させていただければと思いますのでよろしくお願いします。
2:28:24	あとほかに確認時点事項等あればお願いいたします。
2:28:31	はい、中国電力カシマです。こちらから特にございません。以上です。
2:28:36	あと、すいません中国電力山野でございます。都市先ほども申しあげましたように来週 2 回目のヒアリングをですねぜひ設定をしていただければと思っております、まだ 1 回目のヒアリングでまだ到達しないところも含めてですね。
2:28:56	ちょっとお願いをしたいところがございますので、曲げてよろしくお願いいたします以上です。
2:29:10	規制庁クマガエです。
2:29:11	はい。
2:29:13	そして今週いろいろとコメントして直してもらったところもあると思いますのでそういったものも含めてですね。
2:29:20	20 名のヒアリングについてもですね、ちょっと日程を調整して、
2:29:25	やっていければというふうに確認して考えております。
2:29:30	あと、中国電力ヤマダでございますありがとうございますよろしくお願いします。
2:29:37	ほかになればこれで
2:29:38	そのヒアリングのほう終了したいと思いますがいかがですか。よろしいでしょうか。
2:29:44	中国電力カシマですね、こちらから特にございません。以上です。
2:29:48	規制庁クマガエです。それでは、
2:29:51	島根原子力発電所のヒアリングについて、今日のものについては終了いたします。お世話さまでございました。
2:29:59	ありがとうございました。